

平成15年 6月6日“新市誕生”に向けて 合併協定書に調印

～住民説明会で多数の市民・町民が合併に理解～

第8回野田市・関宿町合併協議会において、野田市と関宿町の合併については、住民説明会における住民の意向も踏まえ、合併を行うべきであるとの最終判断が全会一致で決定されました。

両市町146か所で住民説明会を実施

合併協議会では、10月5日の第7回協議会でひと通りの検討を終えたことを受け、10月中旬から両市町において計146か所、4699人を対象に住民説明会を実施してきました。説明会では、アンケートも実施しましたが、これまでの情報提供に満足されている方が野田市で85.2%、関宿町で91.5%、今回の合併は両市町にとってメリットがあるとの説明会の内容について理解された方が野田市で86.6%、関宿町で90.6%という結果でした。

(平成14年11月24日現在)

合併の是非を検討

これを受け、11月24日に第8回合併協議会を開催し、住民説明会の結果を踏まえた合併の是非についての協議を行いました。

委員からは「住民の多くは合併に理解を示している。住民の意見は大きく分かれていないと考え、間違いはない」、「実際に説明会に参加し、どれほど合併に対する住民の期待が大きいか実感した」等の発言があり、協議会としての判断を諮ったところ、全会一致で「合併を行うべき」との最終判断がなされました。

第8回合併協議会での了承事項

この他、第8回協議会では、次の事項が了承されました。

○合併の期日...平成15年6月6日とする。

○議会議員の任期...合併特例法第7条第1項第2号の「在任特例」を適用し、関宿町の議員は、野田市の議員の残任期間、野田市議会の議員と

して在任する。
第9回合併協議会では、新市建設計画が最終確認され、これをもってすべての協議が終了したことから、協議会終了後、同委員の立会いのもと、野田市長と関宿町長が合併協定書に調印しました。

して在任する。

○農業委員の定数...選挙による委員定数は在任特例期間終了後は、20人とする。

○新市建設計画案について県と正式協議に入る。



第8回合併協議会では出席者全員が「合併すべき」と判断

新市建設計画の県事業

11月27日に新市建設計画案について千葉県との正式協議が整い、新市において推進する県事業が次のように決まりました。これらはいずれも昨年11月26日の県の合併重点支援地域指定の際、野田市及び関宿町から県に要望していた事業です。

- ・都市計画道路尾崎中里線(県道川間停車場線)の整備
- ・愛宕駅周辺の主要地方道つくば野田線の整備
- ・県道川藤野田線(都市計画道路今上木野崎線)の整備
- ・野田橋の架け替えを含む浦和野田線(主要地方道越谷野田線)の4車線化並びに芽吹大橋の架け替えを含む主要地方道つくば野田線の4車線化
- ・主要地方道結城野田線の整備
- ・主要地方道我孫子関宿線の整備
- ・主要地方道境杉戸線バイパスの整備
- ・東西に連絡する道路の整備

第9回合併協議会終了後に協定書に調印

12月2日の第9回合併協議会では、県との協議が終了した新市建設計画が決定され、これをもって協議会としてのすべての検討項目の協議を終えました。

協議会終了後、野田市長、関宿町長によって、合併協定書への調印が行われ、続いて、立会人として協議会委員による署名が行われました。



両市町長による調印



取り交わされた協定書

住民説明会での主な意見の概要（野田市）

は意見の多かったもの

1 市民と行政の連携

- ・関宿庁舎が整備され、使用するのが楽しみ。自治会集会施設の整備を望む。
- ・自治集会施設の補助金を1500万円にしてほしい。
- ・櫛のホールの駐車場が少ない。櫛のホールの駐車場を高層にしてほしい
- ・郵便局で住民票等を発行するとあるが、駐車場が狭いので対策をしてほしい。公民館での発行も検討してほしい。
- ・土日の窓口サービスをやってほしい。
- ・住民参加を求め、一体となってまちづくりを進めるように新たな視点に立った方策を実現すること。

2 保健・福祉・医療の充実

総合相談センターの実現はありがたい。施設整備をし、在宅にならぬようお願いします。

- ・知的障害者更正施設の「増設」は慎重に、かつ当事者団体の意見をよく聴いてもらいたい。



調印後握手する両市町長

- ・知的障害者更生施設は、地形から考えても現関宿町民に配慮いただきたい。また重度障害者についても利用できるようにしてほしい。
- ・障害者更生施設、高齢者福祉施設の整備を期待する。通所更生施設は小規模なものを複数ほしい。
- ・空き教室等を学童保育所に利用すべきである。
- ・子育て支援センターを重点事業の中に盛り込み、各地に設置していただきたい。
- ・合併を機会に総合市立病院の設立を望む。
- ・市営住宅に手すりをつけてもらいたい。住民の足元からやってもらうことが大切。
- ・介護保険施設に入所を希望しても入所できないのが現状。特に医療体制の介護保険施設（内科系）をぜひともお願いしたい。
- ・高齢化社会で老人が元気で暮らせるよう、清掃工場余熱利用の温水プールを造ってほしい。
- ・少子高齢化社会を見通した政策実現のため、職員教育も含め、新事業を展開願いたい。
- ・福祉は必要悪と思う。市民の自立が必要。

3 教育・文化の充実

- ・教育施設の整備がようやくできることを考えても、合併して良かったことになると思う。
- ・小中学校のトイレ改修では、重度障害者も利用できるようにしてほしい。
- ・教育・文化の充実の実現を願うのみです。パソコン教育を早く取り組んでいただきたい。
- ・青少年教育を行うための活動の場、子どもたちが集って活動できる施設の充実を図ってほしい。
- ・陸上競技場の整備を早く進めてほしい。
- ・室内プールがない。子どもから老人まで、安い料金で利用できればと思う。
- ・新しいまちのイメージは文化的に中心になるものをつくってほしい。将棋の関根名人記念館はとていいことだと思う。関宿城博物館も、もっとPRすべき。
- ・大学、高校や研究所を誘致していく構想が必要

である。

- ・エアコンは子どもの体を弱くする。外で鍛えたらいい。
- ・学校のトイレ、クーラー、耐震補強は当然やらなくてはならないもので重点事業とするのはおかしい。

4 生活環境の整備

- ・消防体制の充実により、災害出動時の到達所要時間が短縮となることはすばらしい。
- ・関宿町の防災行政無線は、よく聞こえるので野田市もお願いしたい。
- ・重点事業にもう1か所の清掃工場の建設をいれてほしい。
- ・追加購入のゴミ袋の料金が高いように思う。
- ・ごみ関係については、ぜひ女性の参加を望む。
- ・関宿落し堀の汚染が年々進んでいるので整備をお願いしたい。
- ・通学路整備を進めてほしい。
- ・関宿町の粗大ゴミが有料になると不法投棄が増えるのではないかと心配である。

5 産業の振興

- ・利根川と江戸川そして運河に囲まれた千葉県最北端の市となるので、川・水を活かしたサイクリングロードの整備など、観光・産業資源の整備・確立、PRをお願いしたい。
- ・商店街の賑わいがなくなっているが、若い人が集まるような活性化を望む。
- ・農業に対する施策を重要施策として考えてもらいたい。
- ・雇用の安定施策、失業した場合の対策を充実してほしい。
- ・先端企業や外資系企業を呼び込むような構想も必要である。

6 都市基盤の整備

コミュニティバスや駅の整備は、以前からの願



中央コミュニティ会館における住民説明会（野田市）



合併に関する情報を提供してきた「協議会だより」

- い。子供や老人にとってもうれしいこと。コミュニティバスの導入を市民の足としてぜひお願いする。駅も結んだ運行経路も考えていただきたい。小型バスで台数を増やし、利便性を図ってほしい。
- ・高齢化社会に向け、車の運転ができない人のために、病院、市役所、コミュニティ会館を循環するバスをぜひ運行してほしい。
- ・コミュニティバスの導入をぜひお願いする。小山、三ヶ尾、今上にも運行を望む。合併することによって、複線化を早期実現してほしい。
- ・川間駅まで複線化してほしい。
- ・これを良い機会に地下鉄8号線や駅前の整備等を行っていただきたい。
- ・駅の東口整備では、駅舎についてもエレベータ設置や障害者トイレ設置をお願いしたい。駅及び周辺の整備促進、駅舎のバリアフリー化を望む。
- ・川間駅北口は狭くて非常に危険な状態になっているので、早く整備してほしい。整備に関する情報提供はしっかりやってほしい。
- ・七光台駅前及び周辺の整備を望む。
- ・運河駅の東口を開設してほしい。運河駅のトイレが汚いので、野田市として対応してほしい。
- ・生活道路の整備を進めてほしい。山崎・吉春線の延伸をお願いしたい。梅郷西駅前線の早期完成を要望する。
- ・関宿への道路事情が悪いので改善してほしい。
- ・県道中里地先、愛宕から野田橋、梅郷駅付近の渋滞を解消してほしい。
- ・愛宕駅前の歩道橋を自転車も利用できるようにしてほしい。
- ・ジョギング等できるような広い公園を整備してほしい（五駄沼や阿部沼の有効活用を図る）。
- ・総合公園の整備では障害者が利用しやすいトイレにしてほしい。
- ・合併に併せて野田市内の番地を整備できないか。

例 宮崎2〇〇〇番 宮崎一丁目 番

- ・コミュニティバスの利用者は少なく、市の負担が多くなるだけ。野田市・関宿町では自家用車利用が多く、バスは無駄。
- ・複線化は必ずしも必要とは思わない。市の財源で複線化を実施するのはおかしい。
- ・東武鉄道の複線化は新しい東京直結鉄道と相反する。

7 その他

(1) 合併の必要性

合併は両市町にとって総合的に見て大きなプラスになると思われるので必ず実現してほしい。市民の生活が良くなるのなら一部の人の反対で合併を中止しないでほしい。

合併を早く進めて、まちづくり構想を進めてほしい。市民・町民にとって、より良い合併を希望する。

住民投票は必要ない。市民のためと称して不要な費用をかけようとしている。本当に市民のためになることのみを実行すること。

- ・三方を川に囲まれている地理的条件からも、一体となってまちづくりを進めるのは当然。県北に明るい市ができることを喜んでいる。
- ・医師会、農協などは既に合併しているので、益々良くなると思う。

住民投票により市民の意見を聞いて、合併の真意を確認していただきたい。住民自治の精神から住民投票をしてほしい。

- ・合併により両市の生活がこれまで以上に確保されるのか。特に青少年指導、老人、障害者等が置きざりにならないければ良いと思う。

(2) 財政負担

合併によって野田市の負担が増えるとしか受け取れなかったが、合併協議会だよりで新市の内容を説明され市民も理解していると思う。

職員削減などの行政改革をぜひ実現してほしい。合併に伴ない議員定数削減が必要である。

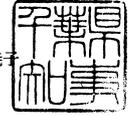
- ・中長期的な計画を策定し、合併特例債を活用してほしい。10～15年後には地方交付税に極力頼らない体質に持って行っていただきたい。行政経費の削減も着実に実施されるよう期待している。
- ・今後市の財政がますます厳しくなると思われる。合併を機に思い切った構造改革及び改善をすべき。
- ・役所の人々の年収を削減すればもっと改革が進む



市第1062号
平成14年11月27日

野田市・関宿町合併協議会
会長 根本 崇 様

千葉県知事 堂本 暁子



野田市と関宿町の合併に係る新市建設計画について（回答）

平成14年11月24日付け野関合第52号で協議のあったこのことについては、同意します。

新市建設計画についての千葉県知事の同意

のではないかと感じた。野田市は職員の数が多
い。自然減以外の対策が必要。

- ・特例債の開發政策への投資は危険である。
- ・交付税が国の財政事情で変わることがないか心配である。
- ・重点事業のランニングコストの負担が大きくなる
らないか。
- ・野田市の法人税は高いと思う。国保の資産割は、
負担感が強い。

(3) 説明会・資料

よく理解できた。今日の説明や資料でまちづく
りが絵に描いた餅ではないことが分かった。

- ・884項目の事務事業調整、建設計画とも研究され
つくした計画のように思う。
- ・参加してよかった。人のうわさが多く耳に入っ
ているので不安ばかりだった。
- ・各家庭にまで資料を配布されたことは非常に良
かった。今後も市報等で経過を知らせてほしい。
- ・市民サービスの低下等不備がありまだまだ説明
不足。資料についても文字が多くて読みづらい。

(4) その他

- ・野田市と関宿町の住民の融和が早く図れる施策
を望む。
- ・税金を無駄に使わないようにし、住民が納得で
きる使い方をして合併して良かったと思えるよ
うにしてほしい。

- ・千葉県2番目の政令市にしてほしい。
- ・シンプルな行政を心がけてほしい。
- ・説明会の話しを理解するのと合併問題そのものを賛成することとは違う。
- ・野田市のサービスレベルの上がるものは、合併がなくても実施するものである。

住民説明会での主な意見の概要（関宿町）

1 市民と行政の連携

- ・合併後は戸惑いが多いと思うので、相談の窓口（電話を含めて）を設けていただきたい。
- ・町役場で受けていたことが、取次ぎで済むようなことは支所でするようにお願いしたい。
- ・土・日曜も窓口を開設し、サービスの向上を。
- ・愛着のある行政区がそのまま生きるように配慮してほしい。

2 保健・福祉・医療の充実

- ・保育所など将来民間に委託されたりした場合、賃金が安く押さえられたりした場合、サービスは低下するのではないかと心配。

3 教育・文化の充実

- ・関宿に図書館がなかったのが良かったと思う。
- ・北部幼稚園の再開園をしてもらいたい。
- ・公民館の夜間の開館日を今より多くしていただきたい。
- ・関宿にはスポーツ施設が少なすぎる。
- ・運動会はなくさないでほしい。

4 生活環境の整備

ごみの出し方は大幅に変わるので、徹底されるまで時間がかかると思う。早めにパンフレットを配布してほしい。

ごみ収集については、説明会を設けてほしい。

- ・ペットボトル回収の設置箇所を増やしてほしい。
 - ・不法投棄されたごみを速やかに回収してほしい。
- 六丁四反水路の整備と小排水路の改良を希望す



南部コミュニティセンターにおける住民説明会(関宿町)



第9回合併協議会ですべての協議を終了

- る。
 - ・関宿町の道路、歩道、排水の件など重点に整備してほしい（三軒家、新宿地域）。
 - ・防犯街路灯の修理材料を関宿支所に置くようにしてもらいたい。
- ##### 5 産業の振興
- ・関東八州の中心にある地区なので、もっと大きな形で考慮すべきと考える。白子町のようなテニスコート等は新たな産業の創生になる。
 - ・関宿物産組合に職員を1人派遣、又は、補助金を出してもらえないか。
- ##### 6 都市基盤の整備
- コミュニティバスは賛成。
コミュニティバスが関宿の北部まで来るようにお願いしたい。
- ・高齢で運転のできない人(一人暮らしの女性等)は市役所、病院、文化面において利用させていただきたいと思うので、コミュニティバスに期待している。
 - ・関宿城より川間駅行きのバスの運行をお願いしたい。
 - ・野田市の本庁に行く場合、電車、バスを乗り継ぐことになるので、朝日バスによる直通バスを通せないか。
 - ・江戸川堤防道路拡張整備をお願いしたい。
 - ・県道結城野田線を早く整備してもらいたい。
 - ・斎場の入口の道路の整備が早期にできるようにお願いしたい。
 - ・旧関宿小学校の跡地を有効利用していただきたい。
 - ・公共事業について、関宿町がおろそかにならないようお願いしたい。
 - ・旧関宿地区は、特別「関宿」という表示を残さなくても良いと思う。
 - ・「関宿」を全部の字の前につけるのがよい。

7 その他

(1) 合併の必要性

関宿町が住み良くなると思うので、一日も早い合併を望む。

早く合併をして、行革効果を出すべき。これからの子どもたちのためにも。

- ・野田市と関宿町の良いところ取りという話の中で、より住みやすい新市が誕生できるように期待している。

合併の是非は重大なことなので、住民の意思として住民投票を行うべきと思う。

(2) 財政負担

- ・合併後の財政改革並びに行政改革に力を入れてほしい。
- ・役所スタッフのスリム化が必要(180人は最低)。もっとスリム化できないか。
- ・税金が一部下がることは良い。
- ・財政面でも大きければよいというものでなく、小さければ小さいなりの生き方があると思う。
- ・法人税は上がるようであるが、合併して法人のメリットは何かあるのか。

(3) 説明会・資料

- ・単に住所が短く書くのが楽でよいぐらいにしか思っていなかったが、説明を聞いて、長い視野でみたら、合併した方が関宿町住民にはプラスになるのではないかと感じた。
- ・住民の関心が高い中で開かれた説明会ではなかったように思う。

(4) その他

- ・住所表示が変わった時に連絡すべき所等(例えば免許証に関する警察)の細かい指導を文書にてお願いしたい。
- ・縦に長い地区であることから、うまく交流して仲良くやっていくために、気持ちよく付き合っていくためにどうするか、交流の方法なども具

体例を示してはいかがか。

- ・合併して交流が盛んになれば自ら理解できることがあると思う。
- ・新野田市としては関宿町を区別しないこと。
- ・関宿町公民館で住民票戸籍抄本の交付ができるのであれば、現野田市の公民館での交付も可能ではないか。民営化が噂される郵便局への委託には反対。
- ・住所変更に伴う助成金などがほしい。
- ・議員の人数が減ってしまい、地域の意見が伝わらなくなってしまうのではないか。

今後は、両市町の議会で審議

野田市市長及び関宿町長は、調印式を経て、12月の野田市議会及び関宿町議会にそれぞれ合併に関する議案を提出しました。両議会で合併を行うべきであるとの議決が行われれば、次の図に示す手続きで進んでいくことになります。

< 合併に関する手続き >

(平成13年11月26日)

合併重点支援地域の指定

(平成14年4月1日)

野田市・関宿町合併協議会設置

協議会における検討

事務事業調整・建設計画案の作成

住民への説明

合併の是非の最終判断

(平成14年12月2日)

両首長による合併協定書への調印

野田市議会・関宿町議会の議決

県に対する合併の申請

県議会の議決

総務大臣の告示

(平成15年6月6日)

新市の発足



合併に関する資料を両市町の行政資料コーナーなどで公開

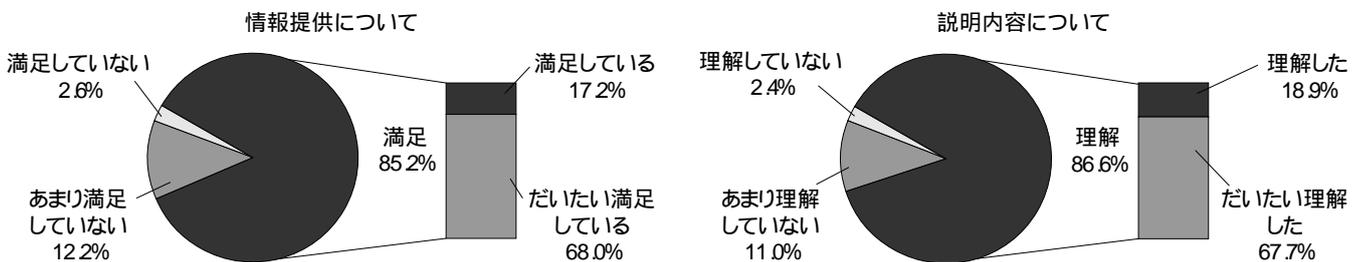
住民説明会の状況（野田市）

平成14年11月24日現在

		合 計	自治会説明会	団体説明会	全体説明会
実 施 数			234自治会	247団体	4 会場
出 席 者 数		3 689人	1 947人	1 451人	291人
アンケート 回 答 数	情報提供	1 578人	925人	495人	158人
	説明内容	1 590人	928人	504人	158人

（234自治会のうち12自治会は全体説明会へ参加）

アンケートの回答状況



住民説明会の状況（関宿町）

平成14年11月24日現在

		合 計	行政区説明会	団体説明会	全体説明会
実 施 数			54行政区	30団体	4 会場
出 席 者 数		1 010人	602人	253人	155人
アンケート 回 答 数	情報提供	608人	416人	106人	86人
	説明内容	612人	420人	106人	86人

（54行政区のうち10行政区は全体説明会へ参加）

アンケートの回答状況

